

「Lines of Sight ～それぞれのアジアへの視線～」

● PFWトップページ ● NPIトップページ

Title: 「翔けゆくアジア！！」



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



荒金 聡

ついに、この日が来た！海外フィールドワークは、自分にとっての登竜門であり、試金石であると思っている。この海外FWで自信をつけ、どこにでも臆することなく、取材に向かう。そんな自分になるため、今日もアジアの風を翔け抜ける！

## ● 最近のエントリー

- ☑ [Quiero hablar contigo. ～君と話したい～](#)  
in Kathmandu / Jun 2006  
(2006.12.08)

## ● アーカイブ

- ☑ 2007年07月
- ☑ 2007年01月
- ☑ 2006年12月
- ☑ 2006年11月
- ☑ 2006年10月
- ☑ 2006年09月
- ☑ 2006年08月
- ☑ 2006年07月
- ☑ 2006年06月
- ☑ 2006年05月
- ☑ 2006年04月
- ☑ 2006年03月

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

RSS 2.0

翔けゆくアジア！！ &gt; 2006年12月 アーカイブ

06.12.08

Quiero hablar contigo. ～君と話したい～ in  
Kathmandu / Jun 2006



こんなタイトルを、まだ全くの不慣れなEspanolで書いてみたものの、一体誰と何を話したいのか、簡単には決められない。いや、決めつける必要は全くないと、常日頃思っていると云った方が正しいだろう。ただ言えることは、このミスターな歳まで年齢を重ねていくと（私より年上の読者の方は、「まだ若輩のくせに何言うか！」と言われるだろうが！）、自分を取り巻く人間関係の移り変わりの早さに、驚きと、その他様々な想いを感じてしまう。

今でもかろうじて繋がっている大学時代の旧友をはじめとして、自分にも、それなりにいくらかの人間関係を持ち合わせているが、かつて親しかった人とも滅多に会わないという現実

は、理由はともあれ寂しくもある。しかし、いつになるかわからないが、また会いに行くという未来の喜びもあるからこそ、過去にこだわることなく、現実を見つめ、生きていくことが出来ると思っている。

今日はこんな話をしようとは思ってもいなかったが、その場の成り行きにまかせてみたら、いつの間にかこんなことを書いていた。日本の四季の移り変わりはとても趣き深いものであるが、私にとって、秋という季節は昔から苦手である。急に薄暗くなっていく空と向き合うのが辛く、もの悲しい。モチベーション高く日々の生活を送っていても、どこかしっくりこない、そんな感じであろうか。だから今日はこんな文章にもなったんだろう！

ブログというものは、自分の持つ何かを発信できるという素晴らしいものであると思う。しかし、ブログにしる、チャットやメール、電話、テレビ電話でもかなわないのが、やはり生身の対面であろう。私にとっての恋の遍歴は、やはり全て対面であった。心ときめく瞬間はやはり、相手の目に何かを感じる時である。こんなことを最近、再認識させられてしまう自分がいる。勝手にキーボードにまかせていたら、こんな結論になってしまった！！ ごめんなさい！ それでは、次回も情熱フラメンコ系の記事と写真をご提供できれば、と思っております。

Good night ! Buenas noches !

カテゴリ:

post by 荒金 聡 | 日時: 2006.12.08 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)